

◆ 本年度の努力点

学校教育目標

社会の変化に主体的に対応できる、実践力のある児童の育成
～子どもと教職員が輝いて、共にひびき合う楽しい学舎の創造～

(1) 一人ひとりの学力の向上を目指す教育活動の推進

- ①基礎・基本の徹底に焦点をあてた校内研修の充実と共同実践
 - ・授業研究会の実施（3回／年以上）
 - ・一人一授業
 - ・モジュール授業とインプットタイムによる学力の定着。
 - ・読書活動推進
 - ・通津小授業スタンダードの徹底 ・全校で取り組む「自主学習ノートタワー」

②児童のつまずきに着目し、指導の改善に努める。

- ・全国学力・学習状況調査結果の分析と指導改善
- ・やまぐち学習支援プログラム学力定着確認問題の結果分析と指導改善
- ・学力向上推進教員による評価と指導改善

(2) 小学校低学年からの異文化理解教育と外国語教育の充実

- ①米軍岩国基地内家族との交流の推進
- ②ペリースクールや国際交流会による異文化理解の推進。
- ③中学校からの英語出前授業

(3) 家庭・地域との連携による教育活動の推進

- ①小・中学校連携によるコミュニティ・スクールを推進する。
- ②家庭・地域、関係機関と連携し、たくましく生き抜く力を育む健康教育を推進する。
- ③家庭の教育力向上を図る取組を推進する。
 - ・生活きちっとカード等を利用した生活習慣の改善や基本的な生活習慣の定着（早寝・早起き・朝ご飯）、家庭学習の充実を図る。
- ④読み聞かせ・学習ボランティアの積極的な活用を行う。

(4) ICT教育の推進

- ・全教室大型デジタルテレビの設置によるICTを駆使した魅力ある授業展開（通常学級に100％設置）

◆ 学校公約

平成30年度学校公約

重点取組事項		
実践内容		
達成目標		
【教育課程・学習指導】 ・徹底した復習による基礎学力の定着	・通津小スタンダードの徹底 ・授業の初めに前回の復習を2分間行い、インプットタイムで再度復習し、徹底して記憶の定着を図る。	・月1回のスタンダード実施確認 ・やまぐちっ子学習プリントや確認問題で成果確認
【生徒指導】 ・基本的な生活習慣の定着	・家庭と連携した指導の工夫（早寝・早起き・朝ご飯）	・生活きちっとカードを利用した、家庭と学校が共同した指導体制の確立
【保護者・地域住民との連携】 ・小中一貫教育の推進	・CSによる地域との連携 ・小中教員の授業交流 ・9カ年のカリキュラムの作成	・小学生を対象とした中学校教員による授業実践（年3回） ・日常的なボランティア活動の展開
【人材育成】 ・組織力の強化	・OJTを意識した人材育成	・定期的な分掌部会の実施 ・新採研校内研修計画に沿った先輩教員の実践的な指導